

# 子どもたちに絵本を贈ります

## 本を選ぶポイント



- 絵、ストーリーに温かみがあるもの
- 言葉にリズム感があるもの
- ストーリーが単純で、起承転結がはっきりしているもの
- 繰り返しの面白さがあるもの
- 子どもの成長や興味に合っているもの

図書館司書  
が選ぶ

## 4歳児(年中)さんへのおすすめ本

### この中から1冊選んでください

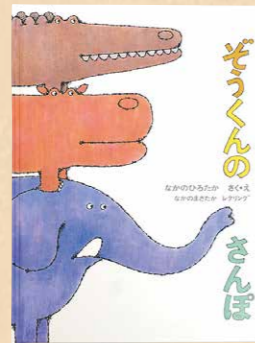


#### ぐりとぐら

なかがりえこ / 作  
おおむらゆりこ / 絵  
福音館書店

点字つきも  
あり

のねずみのぐりとぐらが好きなのは、お料理することと食べること。ある日、森で大きなたまごを見つけてカステラを作ること。



#### ぞうくんのさんぽ

なかのひろたか / 作・絵  
福音館書店

点字つきも  
あり

ぞうくんがさんぽに出かけます。途中で出会ったかばくんやわにくんたちを背中にのせていきますが、だんだん重たくなってきて…。



#### だるまちゃん と てんぐちゃん

加古里子 / 作・絵  
福音館書店

てんぐちゃんの持っているものが何でもほくなるだるまちゃん。うちわやげた、しまいには鼻まで。お父さんのだるまどんが思いつく限りのものを集めてきますが…。



#### こすずめのぼうけん

ルース・エインズワース / 作  
石井桃子 / 訳 堀内誠一 / 画  
福音館書店

飛び方を教わったこすずめは、元気に巣から飛び出します。つかれてしまつて他の鳥の巣で休もうとしますが「なかまじゃない」と入れてもらえません。



#### 三びきのやぎの がらがらどん

マーシャ・ブラウン / 絵  
せたていじ / 訳 福音館書店

三びきのやぎが、橋のむこうの山へ草を食べようとでかけます。待ちかまえるのは、谷に住むばけものトルル。やぎたちはぶじに橋をわたることができるのでしょうか。



#### ひとまねこざる

H.A.レイ / 文・絵  
光吉夏弥 / 訳  
岩波書店

長いおはなし

おさるのじょーじは、しりたがりやです。なんでもやってみたくて、待ちかまえるのは、谷に住むばけものトルル。やぎたちはぶじに橋をわたることができるのでしょうか。



#### はらぺこあおむし

エリック・カール / 作  
もりひさし / 訳 偕成社

あおむしはおなかをぺこぺこ。月曜日はりんごをひとつ、火曜日はなしをふたつ…と徐々に食べていきます。穴あきのしかけ有り。



#### おばけのバーバパパ

アネット・チゾン / 作  
タラス・テイラー / 絵  
山下明夫 / 訳 偕成社

バーバパパは体のかたちを自由にかえることができます。だれでも、いっしょに遊んでみたくなる人気者、バーバパパのシリーズ最初のおはなし。



#### しょうぼうじどうしゃじぶた

渡辺茂男 / 作 山本忠敬 / 絵  
福音館書店

じぶたはちいさな消防車。りっぱなはしご車や高圧車のすみっこでちょっとしょんぼり。でも、みんなが本当に困ったとき、じぶたの出番が来るのです！



#### わにわにのおふる

小風さち / 文 山口 マオ / 絵  
福音館書店

わにわにはおふるがだいすき。おもちゃで遊んで、あわを飛ばして、歌もうたいます。「ずるずり」「じよろろーん」と楽しいことばは、思わず口にしたくなります。



#### どろんこハリー

ジーン・ジョン / 文  
マーガレット・ブレイ・グレアム / 絵  
わたなべしげお / 訳 福音館書店

ハリーはおふるがだいらい。家からにげだして、外で思いっきり遊ぶと、どろんこでまっくらに！ 家に帰っても誰もハリーだと気づいてくれません…。



#### わたしとあそんで

マリー・ホール・エッツ / 文・絵  
よだじゅんいち / 訳  
福音館書店

女の子がはらっぱで動物たちに「あそびましょ」と声をかけると、みんなにげてしまいます。でも、じつと静かにしているとだんだん動物たちが戻ってきます。



#### かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック / 作  
じんぐうてるお / 訳 富山房

いたずらをしたマックスは、閉じこめられた寝室から船にのって旅に出ます。ついたのは、かいじゅうたちのいるところ。個性のなかいじゅうの絵が楽しい。



#### わたしのワンピース

にしまきかよ / 作・絵  
こぐま社

うさぎが真っ白なワンピースを着て、お花畑をさんぽすると、あらふしぎ、ワンピースが花もように…。次々に変わるもようトリズミカルな文が楽しい。



#### しろくまちゃんのほっとけき

わかやまけん / 作・絵  
こぐま社

点字つきも  
あり

しろくまちゃんが、お母さんとほっとけきをつくります。「ぼたあん」「どろどろ」「ぷつぷつ」ほっとけきが焼ける場面は、いいにおいがしてきそう。



#### おいしいのぼうけん

ふるたたるひ / 作  
たばたせいいち / 作  
童心社

長いおはなし

あきらとさとしは、おひるねの時間にけんかをして、おいしいに入れられてしまいます。おいしいの中で出会ったのは、地下の世界に住むねずみばあさんでした。